

# 垂水一心

編集：垂水中央中PTA広報文化部 発行：垂水中央中学校PTA



**支え**

赤組団長 原口旺治郎  
「自分に応援団長ができるのだろうか。」二年前応援団をしてこなかった僕は不安とプレッシャーに押しつぶされそうになりました。でも同じ赤組の仲間たち、他の団のライバルたちと支え合って高め合ってこれたので体育大会を成功させることができました。これまで支えてくれたみんなに感謝したいです。この経験は一生心に残ると思うし、自分の支えにもなると思います。

**感動が生まれた日**

体育大会実行委員長 岩元 風  
行進から僕はとても緊張していました。でも仲間が声をかけてくれたので落ち着いて行進することができました。そして苦労してきたソーラン節では大成功をおさめることができ、本当に嬉しかったです。頑張ってきた良かったと思いましたが、ソーラン節だけでなく全ての種目において最高の体育大会となりました。これからも感動ある体育大会を受け継いでほしいです。

**一人一人の力**

青組団長 秋峯 蓮  
僕は、青組の団長として上手くまとめていけるか不安でした。今回の体育大会ではどの団も全員がしっかりと声を出してまとまっていたと思います。まわりの人たち全員がしっかりと声を出してくれたので僕自身もすこく助かりました。練習のときは大丈夫かなと思ったりしたけど一人一人が協力し、一生懸命したからこそすばらしい体育大会になったと思います。

**団長になって**

白組団長 北方 涉夢  
僕の体育大会での思い出は、競技の部で優勝したこと、もう一つあります。それは、団長になれたことです。僕が団長として、心がけたことは、誰より声を出すことでした。ですが、本番では、緊張してあまり声が出ませんでした。そして、体育大会で学んだことは、人をまとめることが大変ということです。今後は団長としてやったことを糧として、頑張っていきたいです。

## 奉仕作業

【環境整備部】  
環境整備部は8月6日(土)に資源回収、8月21日(日)は3年生を対象として奉仕作業、そして11月13日(日)文化祭の日にはバザーを行いました。次回3月5日(日)に2回目の奉仕作業を予定しています。皆様のご協力をお願いします。



今年より資源回収は、中央地区の担当でした。前年より回収品が少ないという声を多く聞きました。回収品を増やす工夫が必要だと思えます。来年度は奉仕作業と同じ日にしては、という話もあります。夏休み中なので、つい忘れがちですので、二、三日前に一斉メールで連絡すれば忘れることもないと思います。奉仕作業につきましては、暑い中、三年生の生徒、ご家族に協力していただき、教室、グラウンドがきれいになりました。ありがとうございます。次回三月もよろしくお祈ります。

環境整備部長 園田 貴子



収益報告 **23,600円** 協力ありがとうございました。

**編集後記**

私たち一年広報部にとって初めてのPTA新聞作成となりました。どんな紙面にするか不安もありましたが、行事の多さに助けられ、先生方のご協力で写真を集めることができました。原稿依頼を受けてくださった方々、どうもありがとうございました。広報部員がほぼ参加して作れたこともうれしいことです。垂水中央中学校PTAとして何か一つできるような親でいたるようなものです。

## 史跡めぐり “自分について考える”



**歴史が深い垂水市**

三年一組 小谷 愛永  
今回、史跡めぐりを終えて、「垂水には謎が多いな。」と感じました。私が特に印象に残ったのは、「勝軍地蔵」と「居世神社埋没鳥居」です。どちらも驚くような出来事や歴史がまつていて興味深いでした。歴史は苦手ですが、地元の歴史には興味津々で、この一日で垂水の歴史について多くの知識を得ることができました。垂水には歴史が深い素晴らしい市だと感じました。

三年二組 入佐 治希  
ふるさとを見つめ直して、垂水の史跡めぐりで、違った垂水の魅力を知ることができました。産業以外にも、昔から伝えられてきたものや伝統を見直すことができた。また、桜島の噴火の被害を訴える鳥居など、自然の力を知ることができました。自分たちが知らない垂水の魅力や見どころを見て学ぶ貴重な機会になりました。この他にもまた新しい垂水について見ていきたいと思える一日になりました。

三年三組 岡山 明彩未  
住んでいる地元、垂水という場にこんなにも歴史的に有名な史跡があるとは知らなかった。特に勝軍地蔵では廃仏毀釈で壊されそうになったがこの土地の人々が洞穴に隠し守ったというエピソードを聞いて驚いた。このことから、私たちが見た史跡はその時代に生き残った人々のエピソードと共にある、単にそこに置いてあるのではないと感じた。今回見て回った貴重な史跡を大切に守っていききたい。

**家庭教育学級**

橋口 由香  
今年度、家庭教育学級長を引き受け、最初は不安でしたが、皆様のご協力のおかげで全計画を無事終了することができました。幸運をもたらすアクセサリ作りは、できた作品に皆大満足でした。三人の方に講演をしていただきましたが、どのお話も自分のため、子どものためにとっても勉強になりました。垂水高校の校長先生のお話はもっと沢山のの方に聞いてほしいぐらいに残りました。来年度はもっと参加人数を増えることを願っております。



垂水一心 第20号 December 2016 印刷：(有)垂水中央印刷

# 漁業体験

“自分について考える”

1年生

# ふるさと垂水



**1-1** 原口 晴太  
漁業体験を通して、改めて自分の故郷のよい所を知ることができました。

まず、海がとてもきれいなことです。船に乗っていけずに行ったときは、とてもきれいで感動しました。  
二点目は、おいしいカンパチです。カンパチへのこだわりとそのおいしさにはとてもおどろきました。



**1-2** 入佐 瑞希  
今回漁業体験を通して学んだことは、この地域のすばらしさです。まず一つは、漁業の皆さんの優しい説明です。漁業にたずさわる方々の心の温かさを感じました。最後は、垂水の美しさです。船から見た自然、海の美しさ、何頭もいたイルカ、全てが美しく素晴らしいです。この体験を通して

ぼくは、故郷垂水の良いところを知りました。有意義な漁業体験でした。



**1-3** 三原 奏音  
四月に垂水に来て、たばかりで垂水のことをあまり知りませんでした。でも、この体験学習を通して日本一をほめる垂水カンパチのおいしさの秘密や漁師さんたちの努力を知ることができ、いい機会となりました。感謝して食べるようにしたいと思いました。そして、これからは、カンパチをはじめとする、いろいろな魚をたくさん食べて、もっと魚を好きになりたいと思います。

この漁業体験でとてもいい経験をする事ができました。もっと故郷をほこりに思いたいです。

# 地元めぐり

“自分自身の心をつめる”

2年生

2年1組 海元 芙美佳

6月29日(水)、ふるさと垂水学習で八千代伝と環境センターに行きました。まず八千代伝では、焼酎の作り方を教えていただきました。焼酎は二次仕込みで混ぜるものによって焼酎の種類が決まることに驚きました。八千代伝は世界各国から愛されていることも分かりました。

環境センターでは、ごみを27種類に分別していることを初めて知りました。そしてこれからは資源を繰り返し利用し、ごみを減らしてなるべく新しい資源を使わない「循環型社会」を目指していかなければならないことを学びました。垂水について深く知る、良い機会になりました。



~One for all All for one~

文化祭は11月13日(日)、文化会館で行われました。前半は合唱コンクール、後半は文化祭が行われ、各学年のクラスの力を合わせた舞台や展示が見られました。

# 文化祭

「広げよう一つの和を 咲かせよう最高の笑顔を」



伴奏者賞

- 1-2 安樂千夏
- 2-2 川南愛由伽
- 3-2 永田 笑

指揮者賞

- 1-3 三原奏音
- 2-3 梅田翔伍
- 3-2 徳留健人

♪ グランプリは「3年1組」!! ♪

文化祭実行委員長 永田 笑  
私は「みんなで作る」ことを目標に文化祭の準備をし、本番に臨みました。当日、玄関を飾る一年生のモザイクアート、舞台のモザイクアート。三年生の展示、そして二、三年生の迫力ある劇。すべてを見ていく中で「和」とはこういうことなんだなと感じることができました。特にそう思えたのは合唱です。緊張しながらも舞台袖でみんなと手をつなぎ円陣を組んでいる姿、お互いに声を掛け合っている姿に胸を打たれました。また、ステージに立ち、すべてのパートが一つになったあの瞬間が今でも忘れられません。  
今回、時間が少ない中、第七回文化祭を無事終えられたのは文化祭実行委員、先生方、そして全校生徒の皆さんのおかげです。とても大変な作業でしたが、実行委員長をさせてもらったことがよい経験となりました。ありがとうございます。

# 舞台・展示

